



長門の話題

Topics

令和2年長門市消防出初式 地域防災体制の確立を

1月12日(日)、ルネッサなごとで令和2年長門市消防出初式が行われ、消防団や婦人防火クラブなど消防関係者ら約700人が出席しました。
式典では、江原市長が「命に直結する救急救命体制の構築や防災力の強化を最も重要な課題ととらえており、災害に強いまちづくりを目指し、

市民の皆さまと連携した防災体制の確立を目指します」とあいさつ。優良団員の表彰や退職団員への感謝状贈呈などが行われた後、観閲行進と人員機材点検が行われました。
最後は一斉放水が行われ、観覧者らが見守る中、見事なホースさばきで、冬空に水のアーチがかけられました。



▲山口県消防クラブ連合会会長表彰など、各種表彰が行われた



▲空に向かって一斉に放水が開始された

地域おこし協力隊が着任

新たに2人の地域おこし協力隊が着任し、それぞれ委嘱状の交付式が市役所で行われました。
12月16日(月)、「やきとりのまち長門推進事業担当」に着任したのは大阪府出身の田中陽一郎さんで、やきとりのまち長門の情報発信に関する活動や焼き鳥技術の習得および

店舗運営技術の習得に関する活動などを行います。
1月14日(火)、「長門産品開発・販売促進事業担当」に着任したのは千葉県出身の永塚真也さんで、加工技術や品質管理技術の習得・承継に関する活動や長門産品の発掘・開発・販売に関する活動に取り組みます。



▲「やきとり文化を通して長門市の魅力を発信したい」と田中さん



▲永塚さんは飲食店での経験を生かし、長門産品の商品開発を担当

長門のPeople

新たな教育のあり方で地域をつなぐ

学校と地域をつなぐ協議会

地域学校協働活動推進に係る文部科学大臣表彰を受賞した「学校と地域をつなぐ協議会」。
同会は、平成20年から油谷小学校と連携して活動を開始。平成24年からは公民館を軸に子どもの育成に係る団体などのネットワークを構築し、地域総ぐるみで子どもを育てる活動を進めてきました。平成27年の学校の改築で「地域交流室」を設置したことをきっかけに、学校を核とした地域づくりを目指し、教科書だけでは学べない人との関



▲(左から)油谷中央公民館 中村典生館長、学校と地域をつなぐ協議会 森田和康代表、油谷小学校 平井達也校長先生

わり方などのさまざまな課題を住民が協力して児童を支援する新たな学校のあり方を追求。
また、小学校を拠点に活動をする中で、子どもに大人の背中を見せ、将来大人になった時の自分のあり方を考えるきっかけを与えること、住民の学校への意識改革を行うことで地域活性化を図っています。
同会の森田代表は「参加者が楽しみながら、自分たちのことは自分たちでやる意識を持つことが大事だ」と語りました。



▲児童と一緒に英語を勉強

旬な人

「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街の実現のために 長門湯本温泉駐車場が完成

1月15日(水)、「長門湯本温泉温泉駐車場」の供用が開始されました。

同駐車場は、観光客や地域住民が安心して「そぞろ歩き」を楽しめる温泉街の実現のために、温泉街へのメインアプローチとなる国道316号線沿いに新しく設置。乗用車95台、バス3台、オートバイ15台が



▲料金などは「長門湯本温泉駐車場 HP」を参照してください
<https://nagatoyumoto-parking.com/>



▲道のそばに長門ゆずきちが植栽されている「ゆずきち坂」

収容できます。
また、駐車場南側と温泉街の回遊ルートをつなぐ緩やかな「ゆずきち坂」も完成。広々とした駐車場に到着したあとは、眺望テラス「みはらし座」の絶景を見ながら山間の新鮮な空気をたっぷり吸い込み、自然豊かな温泉街の散策を楽しむことができます。